

広島大学光り輝き入試 AO入試

令和2年度入学試験問題

歯学部歯学科

小論文

本問題の出題の意図

問1

現代社会では、インターネット・ゲームの中で成立しているような終わりのない仮想的な世界が、若者を含む多くの人々の生活と密接な関わりを持つようになっている。従来の遊びの世界にはなかった、現実世界とは別の世界を生きるような感覚すら人々に与えてしまうこともあるインターネット・ゲームが生み出す特殊性に対する考え方を問い、将来、臨床や研究に携わる医療人として、仮想現実社会が人々に及ぼす影響を論理的に考察することを期待している。

広島大学光り輝き入試 AO 入試

令和2年度入学試験問題

歯学部歯学科

小論文

本問題の出題の意図

問2

本問題は、近未来の医療や科学の発展を担う現代の若者が身に着ける要素について自身の考え方を適切に説明できるかを問う問題である。さまざまな視点からの分析が可能である。医療や科学を進展させるためには、まず興味と情熱が必要であるが、同時に目的や結果も考える必要がある。良い面、悪い面双方であろうが、そのバランスをどう取りながら医療や科学が進展してきたかの歴史的知識についての分析も必要となる。医療分野での研究に関しては時代に即したニーズを的確に把握することも大事だし、そのニーズを把握するためには困っている人を助けたいという心の持ちよう、「人間力」も必要となってくる。「人のための」医療や科学の進歩のために、世界中の研究者が日夜新しいアイデアを実現させるために働いているが、その中には行き過ぎた成果主義のために不正に手を染める場合もある。科学を取り巻く環境を、自身の興味や経験に基づいて論理的に説明できているかを評価する。

広島大学光り輝き入試 AO 入試

令和2年度入学試験問題

歯学部口腔健康科学科

小論文

本問題の出題の意図

問1

本問題は、受験者が志願し、将来、就業する可能性が高い歯科衛生士（歯科技工士）という職業について、自分自身が将来置かれる専門職についての考えを問うものである。

現在の歯科衛生士（歯科技工士）の業界は、様々な希望的な展望を持つとともに、問題点も抱えている。本問題で設定している20年後には、受験者の多くが働き盛りの40歳前後になっており、その年齢に達した時の自分の専門職について、「良くなっているところ」という観点からはその将来性をどう考え、また、「悪くなっているところ」という観点から、問題意識を持って思考できているかを汲み取ることができる。

このように、本問への解答を通じて、自分自身の専門で活躍するために必要な意識や態度、問題意識及び一般的な思考力、判断力、表現力などについて、幅広く評価する。

広島大学光り輝き入試 AO 入試

令和2年度入学試験問題

歯学部口腔健康科学科

小論文

本問題の出題の意図

問2

本問題は、受験者にこれまで自身が歩んできた人生を振り返らせ、考えさせ、それを10字以内という短い言葉で表現させ、さらに、その言葉を使った理由を記述させます。受験者がこれまで歩んできた道と将来の目指す方向との関連性を記述してもかまいませんし、歯科医療と関係ない記述でもかまいません。

受験者の解答には様々な記述が予想されますが、解答の中で、受験者の論理的思考力と表現力、独創的な視点、道徳心、社会性、責任感、豊かな学識、豊かな人間性、他者との協調性、積極性、探究心、学習意欲、忍耐力などのうちのいくつかを読み取れる内容を期待します。